

**令和6年度より**

**ソラティオ23に**

**拠点コーディネーターが**

**配置されました**





## それってどういうこと?

→ご家族の急な体調不良や入院等の緊急事態等の環境変化に備えてご本人を支える支援体制を相談支援専門員等と作ります。



## 【Aさんのケース】母（85歳）とAさん（55歳）の二人暮らし



相談支援専門員

最近お母様の持病が悪化していて、近々入院するかもしれない。お母様に何かあった時、Aさんが1人で暮らしていけるか心配だけど、どうしたらいいんだろう…?

それは大変ですね。拠点コーディネーターさんと一緒に考えると良いかもしれませんね。拠点コーディネーターの関谷さんを紹介しますね。



基幹相談支援センター



拠点コーディネーター

今支援している皆さんで集まり、一緒に考えませんか?

家が好きです。家が良いです!



Aさん

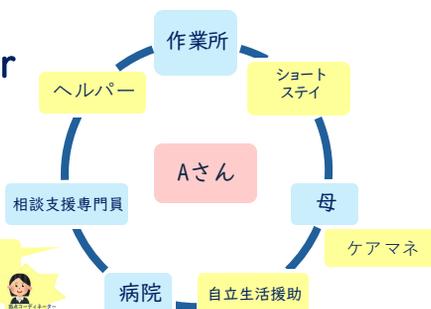
活動①  
ご本人を支えるチームの体制強化

### ★ご本人を支える連携会議の開催 “一緒に考える”

Before



After



一緒に考えます

自分のために考えてくれてありがとう。  
家で生活できることを中心に考えてくれてありがとう。



Aさん

活動②  
個別支援を通じた地域づくり

他の相談支援専門員さんも同じように悩んでいる人いるのかな…。短期入所の受入れ先が少ないな。1ヶ所頼みだな～。自立生活援助の事業所も少ないな。自立支援協議会やワーキンググループに報告してみよう!



拠点コーディネーター



## それってどういうこと？

→入所施設や精神科病院からの地域生活への移行の他、ご家族からのひとり暮らしやグループホームへの移行をバックアップします。



## 【Bさんのケース】精神科病院に入院して10年のBさん(45歳)

### 活動① 病院との 関係づくり

今日は病院巡回でC病院にきました。



拠点コーディネーター



PSW

入院して10年になるBさんという方がいます。入院生活が長くなり、退院する自信がなくて一歩踏み出せないそうです。

入院前は1人暮らししていました。病気になって前みたいに暮らせるのか自信がないんです。私みたいに病気を抱えて1人暮らししている方はいるのかしらと思っています。



Bさん



拠点コーディネーター

病気を抱えての1人暮らしは不安ですね。長い入院生活で地域も変わっているのではと心配になりますね。これからBさんがどこで、どんな風に暮らしていきたいか一緒に考えていきましょう。

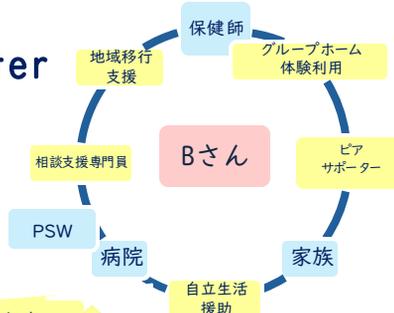
### 活動② ご本人を 支える チーム作り

## ★ご本人を支える連携会議の開催 “一緒に考える”

### Before



### After



一緒に考えます



長い入院経験のあるピアサポーターさんとお話してみたいとBさんから希望がありました。拠点コーディネーターに相談して良かったです。Bさんが一歩踏み出せそうです。地域の資源に繋がりそうで助かります。



PSW

長く入院した経験のあるピアサポーターさんが1人暮らししていると聞きました。まずはその方から話を聞きたいと思いました。何か一歩踏み出せそうな気がします。退院に向けて地域でも支援してもらえるのを知れて安心しました。

Bさん

### 活動③ 個別支援を 通じた 地域づくり

入院が長期化している区民の方は何人いるんだろう？  
病院巡回しなかったらBさんには会えなかった。  
動機づけ支援と一緒にしてくれるピアサポーターさん少ないな…。  
地域移行支援を受けてくれる事業所は1ヶ所しかなくて、まだまだ少ないな。  
基幹相談支援センターや自立支援協議会・ワーキンググループに共有して検討してもらおう！



拠点コーディネーター

拠点コーディネーターは「地域で暮らす」を  
支える仕組みをコーディネートします

地域生活における安心を  
コーディネートします

地域生活への移行を  
コーディネートします

緊急時に備えた相談  
緊急時の対応

地域移行の推進  
(体験の機会・場の確保等)



担当の 関谷 です。



担当の 岡本 です。

社会福祉法人 ソラティオ

住所

〒116-0003  
東京都荒川区南千住2-8-6

TEL

080-3173-0405

開所時間

平日 8時30分~17時30分